

学校だより

第23号
令和8年度

いつも心にあいうえお

令和8年 4月1日 (水)

発行：那覇尚学院高等専修学校

文責：校長 初鹿野修

進級おめでとう!!!

一学年ずつの進級。本校で最高学年の高三生の誕生です。

二年生のあなたの努力は、見ています。去年は、深化でした。今年は、更に進めましょう。進化です。期待します。

三年生のあなたは、いよいよ最上級生です。生徒会も発足し、生徒会長としての仕事も今年は加わります。そして、大学受験。今年度は大きなチャレンジです。私達教職員は、いつでも支えます。

実際の体験が全ての基になる！！実学の大切さ

コンピューターを活用すれば、さまざまな事が簡単に調べられ、とても便利です。生徒も皆さんも本ではなく、インターネットで検索して、資料やデータを取り出し、調べることは得意になってきているのではないのでしょうか。でも、その調べた内容の発表となるとどうでしょうか。次の3つの内のどれにあなたは当てはまりますか？

- ①発表の段階になうと、自分の作成した報告書が読めません。写しただけなので、難しい漢字や言葉の意味が分かりません。当然、質問されても答えられません。これは、その文章が自分のものになっていないことになります。
- ②とてもわかりやすく発表でき、質問にテキパキ答えられますが、例を紹介できません。バーチャル（仮想）の世界の理解で止まっています。これも、実際の知識として自分のものになっていないことになります。
- ③自分の体験したことを例に出して、わかりやすく発表できます。質問されると「例えば、・・・ということですよ。」と答えることが出来ます。そして、調べたことが発表したことのきちんとした根拠につながる発表が出来ます。これは、自分の体験を裏付けることをパソコンで調べ説得力のある発表になります。

学校では、③のようなパソコンの利用ができ、発表ができる生徒を育てたいと考えています。「自分で体験したこと、自分でしたこと」と「本で調べたこととICTを駆使して調べたことを関連させ、「自分で考え、判断し、理解できる。そしてそれを他の人にわかるように、説得力のある発表をする」ように育てたいと思っています。個人課題研究、総合的な探究の時間がまさしくその時間です。そして、今年は、海外研修です。この発表は上記のことが理解されて、初めて生きた海外研修になります。そのための体験の場です。大きな収穫のある体験学習になることを期待しています。

教材園の野菜



今年の生活体験実習では、一年生に材料提供を考え、3月にじゃがいもとにんじん、タマネギを植えました。残念ながら一年生は入学がなかったので、この材料が2、3年生の実習の材料になると思います。自分で作ったもので、自分で考えた献立で食事を作る、まさに体験学習です。どんな料理に変身するか？楽しみです。

これは、何の木でしょうか？

最近、沖縄でも北部の方で栽培されています。沖縄ブランドを作ろうという計画もあります。「コーヒー」の木です。もうすぐ、かわいい白い花が咲きます。

これは、あじさいです。挿し木で育てました。⇒ 今年は花は無理ですがきれいな花を咲かせてくれると思います。

こちらは、花牧園

